

理科・総合的な学習の時間（第 1～3 学年）

テーマ【 異常気象がもたらす、急な大雨・雷・竜巻から身を守ろう！ 】

柏原市立堅上中学校

《学習のねらい》

- ・地震、風水害の起こるメカニズムやその被害の実態について知り、災害を自分のこととしてとらえ、災害等が発生したとき、自分の身を守るためにはどのように行動すればよいかを考え、理解する。

《取組みについて》

① 地震について〔第 1. 2 学年：5 月第 4 週～6 月〕

- ・理科の学習で、プリントを活用し地震についての既習事項を確認する。また、阪神淡路大震災及び東日本大震災について知っている知識やテレビ映像、教科書の写真等で印象に残っていることを書き出し、意見交流を行う。
- ・総合的な学習の時間に、1. 2 年生合同で、地震発生メカニズム、地震による火災、ライフラインや交通網の寸断、避難所の生活の様子、津波や被害後の映像、南海～東海沖地震などの教材 DVD（当時のニュース映像）を見て、被害の実態を学習する。
- ・野島断層保存館や人と防災未来センター（垂水）にて、阪神淡路大震災について調べ学習・聞き取り学習を行い、帰校後、学んだことを班で壁新聞にまとめ、文化祭で展示発表する。



② 風水害について〔全学年：8 月第 4 週〕

- ・理科の時間に気象全般及び台風、洪水、土砂災害、高潮、竜巻について、小学校の内容も含め既習事項を電子黒板やプリントを使って確認する。
- ⇒地球温暖化によって、台風の進路の変化、少雨多雨やゲリラ豪雨による河川の増水、土砂災害、突風・竜巻の多発等が引き起こされていること、以前なら洪水にならなかった雨でも都市開発が進むことで雨水が土中に吸収されず洪水を引き起こすこと等が生徒の知識として確認できた。
- ・教材 DVD（当時のニュース映像）を見て、被害の実態や被害を最小限に抑えるためにどうすればよいかの意見交流を行う。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

- ・「動画教材 防災教材 勇気をもって ～災害を知り、いのちを守る～」DVD
[制作・著作 ニッポンニュースネットワーク（NNN）・読売新聞社・関西大学社会安全学部]
- ・「野島断層保存館」「人と防災未来センター」内資料 [兵庫県]

《成果》

- ・地震については、DVD 映像で見た東日本大震災の映像を、実際にテレビ等で見たという生徒の声が多数上がるなど関心の高さを感じた。さらに、調べ学習・聞き取り学習を通じて、被害の実態や防災についてより深く学ぶことができた。また風水害については、夏休みに台風被害がニュースになったこともあり、校区内に「亀の背地すべり地」があることから、熱心に学習していた。
- ・地震は今本当に起こったら恐ろしいです。今回学習したことを頭に入れ、すぐに対処できるようにしていきたいです。（壁新聞の生徒の感想より）